

県 広 報

特集/県政この一年

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



12

1995
No.323

 富山県

風流な趣が漂う豪農屋敷

富山県民会館分館 内山邸

レポーター:高岡短期大学 山本千尋さん
(表紙の人)



▲ 月見台から庭を臨む



▲ 茶会などに一般開放



◀ 武家屋敷から送られた槍や薙刀



▶ 内山家に伝わる民俗資料の数々

富山県民会館内山邸は、越中の豪農であった内山家の邸宅、庭園を、昭和五十二年県が譲り受け、文化遺産として管理・保存している施設です。立派な表門をくぐると、まずその建物の大きさにびっくり。さっそく館長の立野さんに、屋敷内を案内してもらいました。大広間には、貴重な木額や屏風などが飾られていましたが、特に私の目を引いたのは、参勤交代の際にも用いられたという槍や薙刀。前田家から送られたこれらの品々からは、武家屋敷ともつながりのあった内山家の

隆盛がうかがえます。屋敷内には大広間のほか、選り抜かれた材料でつくられた表座敷、敷内流の粋を集めてつくられた書院の茶室など約二十の部屋があり、その所々には内山家から寄贈された美術品や書画、民俗資料が展示されていて、当時の様子を今に伝えていきます。ぬれ縁からは「月見台」と呼ばれる「たたき(縁台)が庭にせり出していますが、当時の人々はそこに立って風流を匂に託して詠んだそうです。確かにここから庭木や庭石に彩られた庭園

を見渡すと、それらがもしたす風情に、思わず心が奪われました。さて、この内山邸は観覧だけではなく、お茶会や句会といった文化行事に一般開放されているそうです。お茶室は三つあり、特に別棟の茶室「三人庵」は敷内流家元の指導で昭和二年に造られたものを復元した本格的なもの。皆さんも気軽に訪れて、風流な世界に浸ってみませんか。

場所	富山市宮尾903
開館時間	9:00~16:00
休園日	毎週火曜日 年末年始
見学料	一般200円 児童生徒100円
電話	☎0764(32)4567 貸室申し込みは県民会館1階受付 (☎0764(32)3111)

より次元の高い

ボーリングをを目指す

ふくしま国体ボーリング成年女子一部優勝

足谷美香さん

「優勝して、みんなから凄い凄いとと言われるんですが、あまり実感が湧かないんですよ。」と、先日開催されたふくしま国体ボーリング成年女子一部で見事優勝を飾った足谷美香さん。

「三年前、やまがた国体に出場したときは雰囲気は飲まれて、十一位に終わりました。その経験を活かして、今回は自分のボーリングをすることだけを心がけたんです。」個人戦は、予選六ゲームで上位八名が決勝に進み、決勝の三ゲームとあわせた合計点で争われます。「予選では思いどおりのボーリングができず、七位でやっと決勝に進みました。その時点でトップとの差は百ピッチ以上。とても決勝の三ゲームで挽回できる点差ではなかったんです。」しかし、決勝二ゲーム目に二百七十九という驚異的なスコアをマークし、一気にトップへ。そのまま勢いに乗ってビッグタイトルを手中にしました。「ゲーム中、チームメイトの山本浩さん(全日本ナショナルチーム所属

広島アジア大会金メダリスト)のアドバイス通りに投げられたのがよかったです。」と謙虚に語る足谷さん。本格的にボーリングを始めてからわずか六年余り。その間、北信越のタイトル二回、全日本選手権でも二位と、天性の才能を発揮してきました。最近では、ボーリングの奥の深さますます分かってきたとのこと。「レインによってオイルの引き方が微妙に違うんです。そのコンディションを的確につかんで、ボールを使い分けたり、投げ方を変えたり、本当に難しいんですよ。でも、そこが魅力でもありますね。」さて、当面の目標は、来年二月に行われる予定の選考会でナショナルチームの一角に食い込むこと。そうすればアトラクタ・オリンピック出場も夢ではなくなるそうです。「自分ほどではないボーリングができるようになりたいですね。」より次元の高いボーリングを目指す。足谷さんのさらなる挑戦は続きます。



12 CONTENTS

12月号もくじ

とやま遊学感	表紙
富山県民会館 内山邸	2
ひとアズとやま/足谷美香さん (国体ボーリング成年女子一部優勝)	7
特集/県政この一年	2
PINUP TOYAMA 写真/谷川昭夫(富山県写真家協会会員) 詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)	8
クローズアップ/ ①第一回富山県生涯学習フェスティバル ②とやま女性総合センター(仮称)起工式 ③フレ国民文化祭	10
エッセイ/笹倉慶造 (富山県自然保護協会専務理事)	12
シリーズ 花ある人を育てる緑 彩りとやま緑化祭'96Ⅲ	13
県からのお知らせ	14
人権週間のお知らせ	16
とやまの祭事記/歳の大市 (福野町)	表3

県政この一年



とやま健康村(仮称)イメージ図



今年、戦後50年の節目の年です。本県が戦後の混乱の中から大きく発展を遂げ、今や住みよさ、豊かさにおいて、全国トップレベルの評価を受けるにいたったのは、郷土の先人たちの知恵と努力のたまものにはかたがたありません。そして、21世紀を間近に控えた今、私たちはこれらの業績を受け継ぐとともに、時代の流れを的確に見定め、将来への明確なビジョンを持って、新しい時代に向けた土台づくりを進めていく必要があります。

県では、「人材立県」、「生活立県」、「国際立県」の3つの立県構想のもと、着実に施策を推進しています。ここでは、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の3大政策に沿ってこの1年を振り返ります。

●健康・福祉の増進

福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の整備に向け、設計競技を行いました。また、福祉・医療に携わる人材の養成・確保を図るため富山県福祉カレッジの開校を支援したほか、富山女子短期大学福祉学科の整備に対し助成を行いました。

高齢者に対する施策としては、昨年策定された高齢者保健福祉計画に基づき、ホームヘルプサービス事業やデイサービス事業の拡充を図りました。また、新たに高齢者に配慮した住宅に対して助成するなど、在宅



富山県スキージャンプ場(立山ジャンプ)竣工(1月9日)

を開始しました。また、産科と小児科等の連携や不妊相談を行う母子保健医療に関する拠点として、母子医療センター(仮称)の設置について検討を開始しました。

さらに、県民の健康づくりの中核基地、世界各国の伝統医学のメッカを目指す国際的な基地、とやま健康村(仮称)について基本設計に着手しました。また、県民の医療を担う中核病院として、県立中央病院の新診療棟が完成し、五月に運営を開始しました。



▲第55回国民体育大会開催内定記念「とやまスポーツフェスティバル」(10月10日)

このほか、本県での開催が内定した二〇〇〇年国体に向け選手強化に努めるとともに、西部総合体育館(仮称)をはじめとする国体競技のスポーツ施設の整備を進めています。

●生涯学習の推進

昨年の全国生涯学習フェスティバルの成果を踏まえ、学びの輪がさらに広がるよう県生涯学習フェスティバルを十月に魚津市で開催しました。学校教育については、小杉高校での総合学科開設、小矢部園芸高校の改編、英語や福祉などの特別コースの教育内容の充実など、特色ある学校づくりを推進しました。

●科学・文化の振興

県立大学の工学研究科大学院博士課程の開設準備や生物工学専攻の修士課程の新設に向け、整備を進めました。第十一回国民文化祭とやま'96については、来年の開催に向け、十一月にプレ国民文化祭を実施するなど諸準備を進めています。

昨年開園した利賀芸術公園については、利賀新緑フェスティバルなどの自主企画事業の支援や周辺環境の整備などに努めました。また、水墨画を中心とする新美術館については、富山市五福地内に建設が決まり、諸準備を進めています。このほか、立山曼陀羅の世界が疑似体験できる立山博物館野外施設「まんだら遊苑」が七月に開苑し、全国に例を見ないユニークな施設として注目を集めています。

●若者と女性の力を社会に

男女協同社会の実現拠点となるとやま女性総合センター(仮称)の建設に着手しました。人口問題については、若者が住みたい富山の創造という観点から検討を進めている人口問題懇話会の提言を踏まえ、各施策の充実を図りました。このほか、二〇〇〇年県民が燃えるプログラム事業を行い、県内の若手代表者からなる実行委員会が行った県民からの提案募集等を積極的に支援しました。



▲県立中央病院新診療棟竣工(4月20日)



▲プレ国民文化祭市街パレード(11月12日)



▲利賀・新緑フェスティバル'95(4月28日)



▲立山博物館野外施設「まんだら遊苑」

主なできごと

平成6年12月～平成7年11月

- 12月3日 エイズシンポジウム in 富山
- 12月6日 12月定例県議会（～16日）
- 12月9日 「障害者の日」キャラバンキャンペーン
- 12月17日 立山山麓スキー場合同オープニングフェスティバル
- 12月22日 全国地方分権推進研究協議会ブロック会議
- 1月5日 近代美術館「みんなでつろう'95」展（～2/12）
- 1月9日 富山県スキージャンプ場（立山ジャンツェ）竣工式
- 1月20日 第48回県民体育大会冬季大会（～22日）
- 1月25日 富山県イメージアップ貢献者感謝状贈呈式
'95 いきいきとやまパフォーラム
- 1月28日 第2回児童環境づくりシンポジウム
- 2月4日 「北方領土の日」記念講演会および記念街頭
キャンペーン
- 2月5日 平成6年度全国高等学校総合体育大会冬季
スキー大会（～9日）
- 2月10日 第5回花と緑の冬のフェスティバル（～12日）
- 2月14日 省資源・省エネルギー運動富山県大会
- 2月25日 '95 らいちようパレー雪の祭典（～26日）
- 2月27日 2月定例県議会（～3月14日）
- 2月28日 第2回児童環境づくりシンポジウム
- 3月16日 水産試験場深層水利用水産増養殖研究棟完成式
- 3月22日 新交通管制センター運用開始式
- 3月25日 TOYAMA NOW in 原宿 '95（～29日）
- 4月7日 林業カレッジ開校記念式
- 4月9日 いきいき富山観光キャンペーン'95 オープ
ニングフェスティバル
統一地方選挙 県議会議員選挙
- 4月11日 富山ーウラジオストク便再開記念行事
- 4月14日 ウラジオストクNOW展（～20日）
オフィス・アルカディア設立総会
- 4月20日 県立中央病院新診療棟竣工式
- 4月23日 統一地方選挙 町村長・市町村議会議員選挙
- 4月25日 ゆ・と・り創造富山県民会議
- 4月28日 第13回全国都市緑化フェア みつばちキャラ
バン隊出発式
利賀・新緑フェスティバル'95
- 4月29日 銀座みゆき通りチューリップカーペット
- 5月3日 立山山麓グリーンドキュメント（～7日）
- 5月7日 看護の日 ふれあいトーク
- 5月9日 参議院地方分権特別委員会富山県公聴会
- 5月10日 とやま賞贈呈式
- 5月11日 春の全国交通安全運動出発式
県政モニター委囑状交付式
- 5月12日 知事のまちなまり（大山町）
- 5月14日 国民文化祭とやま'96 500日前プレイベント
- 5月25日 北陸新幹線富山駅整備調整事業起工式
- 5月30日 キてみてーくTOYAMA'95（～6月1日）
- 5月31日 小矢部川流域下水道全市町村供用開始
- 6月12日 富山県中小企業融合化推進協議会総会



▲北陸新幹線富山駅整備調整事業起工式（5月25日）



▲富山県中央植物園新築工事定礎（9月28日）



▲都市型震災訓練（10月3日）



▲富山ーウラジオストク便再開記念行事（4月11日）



▲立山カルデラ砂防総合博物館（仮称）イメージ図



▲富山県・サンパウロ州友好提携10周年記念式典（7月18日）



▲富山県マルチメディア情報センター開所（7月3日）

魅力ある郷土づくり

●快適な暮らしの実現

阪神・淡路大震災を教訓として、地域防災計画の見直し作業を進めたほか、初めて都市型震災訓練を実施し、情報連絡体制の強化や災害時の初動体制のあり方などについての検討を行いました。環境対策については、地球温暖化防止のための施策の方向を定めた地球温暖化対策地域推進計画の策定に向けた準備を進めたほか、電気自動車の導入や市町村におけるフロン回収設備に対する助成など、地球環境の保全に努めました。

●魅力ある地域づくり

日本海国土軸構想や日本中央横断軸構想の推進を図るとともに、飛越地域における日本の心のふるさとゾーン整備構想を推進するなど県際交流を進めました。

●県土の保全と活用

神通川流域下水道の建設を推進したほか、農村下水道の整備や合併処理浄化槽の普及など、全県域の下水道化に積極的に取り組みました。また、立山カルデラ砂防総合博物館（仮称）については、実施設計に取り組みむなど、建設に向けて着々と準備が進んでいます。

●交通・情報通信体系の整備

北陸新幹線については、将来の新幹線乗り入れに備え、五月に着手された富山駅周辺の測量、設計に協力するとともに、全線整備が早期に実現されるよう引き続き働きかけています。道路整備については、東海北陸自動車道の上平・福光間の整備が着手されたほか、能越自動車道の小矢部・福岡間の平成七年度中の開通を目指し工事が進められています。

また、四月に週二便体制で再開した富山ーウラジオストク国際定期便の利用促進を図ったほか、海の新幹線とも呼ばれるテクノスーパライナーの就航に向けた調査、検討を行うなど、より充実した環日本海交流の実現に取り組みました。情報通信基盤の整備については、産学官が一体となった富山インターネット協議会（TRITON）の設立を支援し、世界的情報網であるインターネット

の活用等によるコンピュータネットワークの整備を進めました。また、県の行政情報を提供するパソコン通信ハローネットとやまの運用を六月に開始しました。さらに、総合情報センター内にマルチメディア情報センターを開設し、地域情報の提供や人材育成に取り組みました。

●国際化時代への対応

ブラジル・サンパウロ州との友好提携十周年を記念した各種行事の開催や、同州で日本語を学ぶ学生を対象とした奨学金制度の開設など、両県州の交流をいっそう進めました。また、生きた英語教育を推進するため、今年から県内すべての高校に外国語指導助手を配置しました。このほか、ロシア沿海地方と韓国江原道に環境保全に関する調査団を派遣しました。さらに、十月には環境庁や対岸諸国等とともに、日本海の海洋環境モニタリングに関するワークショップを本県で開催し、海洋環境の監視等について討議を行うなど、環日本海の環境保全に関する協力を図りました。

活力ある 産業づくり

● 新世紀への産業展開

企業の事務所等が立地する業務拠点地区（オフィス・アルカディア）の整備に向け諸準備を進めるとともに、八尾中核工業団地の拡張や小矢部南部丘陵工業団地の環境現況調査を促進しました。

また、幅広いデザイン分野の支援拠点となる総合デザインセンター（仮称）の整備に向けての準備やデザインウェブ事業の支援などデザインの振興を図りました。

このほか、水産試験場に完成した深層水利用研究施設でサクラマスやトヤマエビの増養殖研究を始めたほか、世界のチュリーリップ品種の保存と活用を図るチュリーリップ遺伝資源センターが業務を開始しました。

● 農林水産業の振興

農地の流動化や農業担い手対策を進めるため、農地開発公社を農業公社に改組拡充するとともに、農業担い手育成センター事業を強化し、新規就農者に対する就農資金を充実しました。

また、林業分野での全国最初の職業能力開発校である富山県林業カレッジを四月に開校し、林業者の能力開発を推進しました。

水産業については、拠点漁港地域の総合整備を推進したほか、資源管理型漁業の定着を促進しました。

● 工業、商業・サービス産業の振興

新規創業者のための支援資金を創出するとともに、新分野進出等円滑化法の活用により、中小企業者の新規創業や新分野への進出を支援しました。

また、魅力ある商店街づくりを支援するため、アーケード等の商業基盤施設や町の顔づくり施設の整備に対し助成するとともに、中小商業活性化基金を活用し、にぎわいを創出するイベントを支援しました。

このほか、富山観光キャンペーン、ようこそ富山キャンペーンを実施し、引き続き通年型の観光振興を図ったほか、四月幕張メッセで開催された旅フェア'95に出展参加するなど観光PRに努めました。

● 雇用と勤労者福祉

女子学生就職支援セミナーを開催するなど、新規学卒者の就職支援対策を充実しました。また、東京のUターン情報センターの移転拡充やUターンフェアの開催など、県内への就職を促進しました。

さらに、ゆ・とり創造富山県民会議の開催等、中小企業の労働時間短縮に向けた普及啓発を行ったほか、勤労者総合福祉センター（B型）の建設に着手するなど、勤労者福祉の増進に努めました。



▶水産試験場深層水利用水産増養殖研究棟完成式（3月16日）



◀旅フェア'95（4月12日～16日）



▲林業カレッジにおける研修風景

施策の 実現のために



▶「なんかへんだぞ日本。」新聞広告（3月21日）



▶キミとトイックTOYAMA'95（5月30日～6月1日）



◀ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95（8月24日～27日）

引き続き計画的な県政を推進していくため、平成八年度から十二年度までの新富山県民総合計画の後期事業計画の策定に着手しました。

自然や野生動物植物をテーマにした映像祭ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95の開催を支援したほか、全国紙、地方紙あわせて十六の新聞に富山県のイメージアップ広告（なんかへんだぞ日本。）を出し、全国から注目を集めました。

組織機構については、二〇〇〇年国体準備室を知事部局に移管し、二〇〇〇年国体準備局とするとともに、国民文化祭準備班、緑化フェア準備班をそれぞれ推進班に改組充実し、大型イベントに備え体制を強化しました。

また、住民生活に関連した事務について市町村への権限委譲を進めたほか、中核市の指定を受けた富山市の取り組みに引き続き協力するなど、地方集権の推進に努めました。

主なできごと

平成6年12月～平成7年11月

- 6月13日 パソコン通信「ハローネットとやま」運用開始式
- 6月16日 6月定例県議会（～28日）
- 6月21日 男女雇用機会均等推進セミナー
- 7月3日 富山県マルチメディア情報センター開所記念式典
- 7月5日 栃津川放水路完工式
- 7月7日 立山博物館野外施設「まんだら遊苑」開苑式
- 7月12日 大規模林道高山・大山線 和佐府区間、有峰区間東谷地区開通式
- 7月13日 富山県・岐阜県知事懇談会
平成7年度日本の心のふるさとを守り育てる
飛越協議会総会
- 7月18日 富山県・サンパウロ州友好提携10周年記念式典
- 7月27日 知事のまちなまり（高岡市 ～28日）
- 8月3日 水環境フェア'95
- 8月12日 テクノスーパーライナー実験船「飛翔」寄港（～21日）
- 8月14日 第2回Uターンフェア・in・とやま
- 8月15日 戦後50周年記念富山県戦没者追悼式
- 8月24日 ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル'95（～27日）
- 8月26日 第13回北方領土返還要求富山県大会
- 8月31日 第50回国民体育大会夏季大会結団壮行会
- 9月4日 まちのかお 建築系・都市計画系大学院生等
見学会（～5日）
- 9月8日 障害者雇用促進大会
'95 公募 日本海美術展開会式
- 9月10日 県庁前公園即席提案大会&フリーマーケット
- 9月13日 9月定例県議会（～28日）
- 9月14日 県展50回記念展
- 9月28日 富山県中央植物園新築工事定礎式
- 9月29日 とやまテクノフェア'95
- 10月1日 国勢調査の日
- 10月2日 富山県福祉カレッジ開校式
- 10月3日 都市型震災訓練
- 10月4日 海洋環境モニタリングに関するワークショップ
- 10月10日 第55回国民体育大会開催内定記念「とやまス
ポーツフェスティバル」
- 10月11日 第50回国民体育大会秋季大会結団壮行会
- 10月14日 第12回特産王国とやまフェスティバル
第1回富山県民生涯学習フェスティバル（～15日）
- 10月16日 とやま女性総合センター（仮称）起工式
- 10月18日 高齢者雇用促進大会
- 10月25日 青年の翼・女性の翼結団壮行式
- 11月8日 いきいきとやま第8回健康と長寿の祭典（～9日）
- 11月10日 平成7年度富山県道路除雪対策協議会
- 11月12日 プレ国民文化祭総合フェスティバル
- 11月13日 平成7年度富山県功労表彰式
- 11月16日 デザインウェブ'95 in 富山
- 11月17日 一日部長辞令交付式
- 11月18日 ゆとり名人認定式

この光景の前では
おのが詩なんぞ
ボロ屑にもなりはしない

声帯が
電子の音程で
震るえ 震るえ

ああ
神^{かむ}からならし
神^{かむ}からならし
たちやま——
ひたすらに
この御名を
喚ぼうとするけれど

夕日に映える立山

撮影／谷川昭夫 詩／山本哲也
写真プレゼントについては16ページ参照

Pinna
UP
Town
ピンナップとやま

11/12 感動につつまれた文化の競演

プレ国民文化祭 市街パレード 総合フェスティバル



午後一時から行われた市街パレードでは、県警音楽隊を先頭に、富山国際大学付属高校バトントワリング部、小矢部市の源氏太鼓、大沢野町の金蔵獅子、魚津市のせり込み蝶々踊りなどが、富山市平和通り約一・五キロをパレード。沿道を埋めた大勢の見物人からは、盛んな拍手が送られていました。

県民会館での総合フェスティバルでは、中沖知事が「来年の国民文化祭が成功するよう、ぜひ協力をお願いしたい」とあいさつ。続いて、井波町の八乙女風神太鼓、河西希代子舞踊研究所の創作舞踊、劇団「文芸座」による演劇などのほか、中国遼寧芸術団による優雅な民俗舞踊、ブラジルサンバチームの華やかなダンスなど、パフォーマンスが次々に繰り広げられました。

フィナーレでは、女性グループ、ファイヤークラッカーズが小椋佳さん作詞・作曲のイメージソング「愛のマンダラ」を披露。観客を交えての大合唱で、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

プレ国民文化祭パレード出発式



このイベントを契機に、来年の国民文化祭では、文化活動の大絵巻が県内一円に繰り広げられるでしょう。



遼寧芸術団の優雅な舞い

10/14~15 人の心に“学び”の輪

第1回富山県民生涯学習フェスティバル まなびピアとやま'95 in 魚津



子どもたちに大人気のマスコット、マナビィ



▲地域団体による舞台発表

「いのちとくらしーとやまマンダラ大絵巻」をテーマに来年本県で開催される第十一回国民文化祭のブレイイベントとして、十一月十二日、プレ国民文化祭が開催されました。

「人から人へ・心から心へ・生涯」をテーマに、十月十四日(土)と十五日(日)の両日、第一回富山県民生涯学習フェスティバルが魚津市新川文化ホールで開催されました。この催しは、昨秋本県で開催された全国生涯学習フェスティバルの成果を活かすべく、生涯学習の発表の場として、県内五つの広域圏持ち回りで今年から開催されるものです。

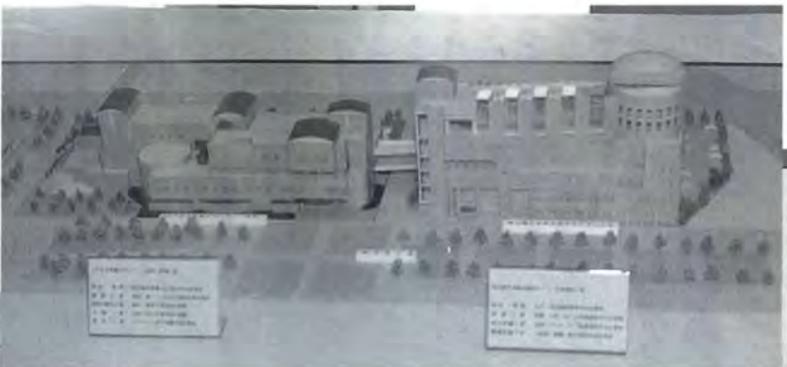
大ホールで行われた総合開会式では、実行委員長の石川魚津市長が「記念すべき第一回となるこのフェスティバルを機会に“学び”のネットワークを広げたい」とあいさつ。会場では、地域団体による吹奏楽・合唱のコンサートや寸劇その他の舞台発表、新川広域圏や県内団体の活動の展示など多彩な催しが行われました。また、手品や工作教室、手話体験コーナーなども設けられ、訪れた人々は実際に生涯学習の楽しさに触れていました。その他、身近な問題を取り上げたディベート(公開討論会)や映画監督の篠田正浩さんを講師に迎えた講演会なども催され、人々は熱心に聞き入っていました。

多数の参加者や見物客で賑ったこのフェスティバルを通じて、学ぶ楽しさがさらに広がっていくことでしょう。

10/16 みのりある男女協同

社会の実現を目指して

とやま女性総合センター(仮称)起工式



▶完成予想模型



男女協同社会実現の拠点となる「とやま女性総合センター(仮称)」の起工式が十月十六日、富山市湊入船町の建設予定地で行われました。

式には、中沖知事をはじめ、県や工事関係者約百人が出席。神職の祝詞奏上に引き続き、知事がまなびピアとやま'95の代表がくわ入れ、工事関係者の代表がくわ入れ、県議員や女性関係団体ら出席者が玉串を捧げて工事の安全を祈りました。

男女がともに自立し協力しあい、女性をとりまく問題の解決を進めながら、県民みずからが主体的に「みのり豊かな男女協同社会」の実現と「しあわせに生きる富山の創造」を目指す活動拠点となるもので、平成九年春の開館を目指しています。鉄筋コンクリート四階建てで、敷地面積は約六千八百平方メートル。センター内には、相談室や図書室、研修室をはじめ、多目的ホール、交流サロン、生活体験実習室、託児室などが備えられるほか、消費生活センターや婦人就業援助センター、富山パートバンクなどの入居も予定されています。

男女が豊かな生活を支えあい、これからの新しいライフスタイルを創造するとともに、幅広い人間関係を築く交流の場となる同センターの開館が待ち望まれます。



第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

全体会期 平成8年4月20日(土)～9月1日(日) 135日間
 提唱 建設省
 主催 富山県・高岡市・砺波市・財都市緑化基金

【先取り情報③】

今回は、メイン会場となる「高岡古城公園会場」の見どころを紹介します。



メイン会場
高岡古城公園会場 (高岡市古城)

■会期/平成8年7月12日(金)～9月1日(日)
 ■テーマ/緑と文化

豊かな緑と水濠のある公園のたたずまいを活かし、みどりの文化や伝統とその創造をめざして、花と緑に包まれたこれからの「まち・ひと・くらし」づくりを提案します。

●●●主な見どころ●●●

- 花のまち(本丸広場とその周辺)
 彩りあざやかな4つの巨大な「花やぐら」(高さ10m)
 水を用い、真夏のまちのオアシスを形成する「泉の広場」
 全国の都道府県や都市がつくりあげる「ふるさと花壇」
- 和みの園(小竹藪とその周辺)
 全国の造園のプロがつくる和風庭園「花の庭」
 県内の市町村が、これからの花の庭や花飾りを提案する「ふるさと花壇」
- 憩いの庭(中の島とその周辺)
 古城公園の水濠に浮かぶ色とりどりの「花いかだ」(50基)
 万葉植物を活かした花と緑の演出
- フローラルドーム(体育館)《テーマ:花と緑-生命の賛歌》
 本邦最大(310インチ)の大画面に、ハイビジョン映像で花の生命の神秘を紹介する「花のシアター」
 パイナップル、パイア、マンゴーなど世界の熱帯フルーツや、世界最大の花=ラフレシア(直径1m以上)、世界最大の葉をもつアンネラ(直径2m以上)などの珍しい植物を集めた「トロピカルプレジャーガーデン」

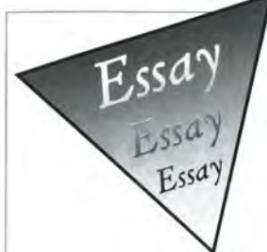
おトクなメイン会場前売入場券 好評発売中!

抽選でソウル航空券プレゼントなど、多くの特典が付いたメイン会場前売入場券(高岡古城公園会場・高岡おとぎの森公園会場)が好評発売中です。入場券は、主な旅行代理店、プレイガイド、JR駅、コンビニエンスストアでご購入いただくか、町内会などからの「回覧申込書」により申込み下さい。

区分	ゴールドパスポート (全期間通用入場券)	グリーンチケット (前売普通入場券)	当日入場券
大人	前売 2,500円	前売 1,200円	1,500円
高校生	// 1,200円	// 600円	800円
小・中学生	// 600円	// 300円	400円

※ゴールドパスポートは、メイン会場の会期中(平成8年7月12日(木)～9月1日(日))、両会場に何度も入場できる大変おトクな入場券です。

問合せ先
 全国都市緑化とやまフェア事務局
 〒933 高岡市本丸町7-1(本丸会館内)
 ☎0766-25-1510



風景を 邪魔するもの

富山県自然保護協会専務理事
笹倉慶造

風景には秀麗な山があつたほうがよいし、広闊たる海も欲しい。それに加えて四季の移ろいがなければならぬ。
 富山の景色が美しいといわれるのは、そのような要件を揃えているからかも知れない。その山並はすくっと立ちあがって平野を取り囲むようにつらなり、海は奇麗な曲線で湾曲しているから海越えの風景も展開する。それぞれが望ましい方向と位置におさまり、しかも朝から夕べに移行する太陽の光をうけて、その姿を微妙に変化をもたらし。そして全体の風景は、ほぼ南北に流れる大川によって、次第に別の様相を見せながら、メリハリのある区切りを私たちに示してくれる。さらに県の中部の丘陵地帯は、それらのつくり出す全体の構図をきつちりと底辺で引き締めてくれるのが嬉しい。
 富山県の風景は山、川、平野、海と基本的な要因だけで構成されているものの、それぞれの持ち味をもっとも誇らしげな姿で表現しているし、余計な付随物を取り去ってすっきりと純粋な形で仕上げられているのが特色といえそう。時には季節の変り目に華やかな色彩に装うことがあっても、いつも美しさを内に秘めつつ、ひかえめで地味な静寂さを保っている。
 そのような優れた遠景をバックにして、近景の都市部も近年は著しく綺麗に整備されてきているし、花と緑が豊かになり、しばらくぶりでこの地を訪ねてきた人が一様に驚くくらいのものである。

変容ぶりである。
 しかしながら或いは「にもかかわらず」と言うべきか、その秀逸な景色を眺める足元がいささか頂けない。なぜあの様に乱雑で喧騒なのか。色と音の無秩序な氾濫と騒がしさ。「神が与えたもうた風景」を「人間の営み」がふち壊しているような感じすら与える。折角の街路樹や花木の美しさを台無しにするどぎつい看板類の数々、それに負じと歩道まで安っぽい模様と色彩で化粧を施す無神経さ。駅前や繁華街のべつまくなしにがなりたてるボリューム一杯の街頭宣伝、また商店街では通りに流す音楽と称する音響と、店内のそれとの混ざりあつた不協和音、これらの騒々しさには只々こちらがいららざるばかり。ただですらクルマの騒音に悩まされてる現代人に、これでもかこれでもかと襲いかかる音響公害、いっぽうは流れて移動する音だからまだ救いがあるが、このほうは滞留音だから始末が悪い。
 このような現象はやっている方はサービスのつもりだろうが、考えてみればむしろ野蛮なことですらあると私は言いたい。ふと「騒色騒音不感症候群」という言葉をつかいたくなってくる。
 富山県の静寂で崇高な風景には、騒色と騒音は似合わないものであつて、阻害以外の何物でもないことを強調したい。



▲雨晴海岸から臨む立山連邦

県からのお知らせ Information

お知らせ

新川文化ホール「やまなみ土曜コンサート」 「ミニージャックランチ」開催中



毎週土曜日、午後12時から、魚津市の新川文化ホールやまなみロビーにて入場無料のミニコンサート「ミニージャックランチ」を開催しています。10月1日、国際音楽の日制定とともにスタートしたこのコンサートは、地域の方々が気軽に音楽に触れ合うことの出来る絶好のチャンスです。ピアノ・ヴァイオリン・マリンバ・チェンバロなど多彩なソリストたちが邦楽、クラシックなどの様々なジャンルを熱演します。

日時 平成8年3月までの毎週土曜日、午後12時から開催
(入場無料)

除雪等に関する協力をお願い

県から県民のみなさまへ除雪等について次のとおりご協力をお願いします。

(1)冬用タイヤに早めに取り替え、それぞれの路面状態にあった運転をしましょう。また、歩行者の近くを通るときは、水はねに十分気をつけ、人にやさしい運転に心がけましょう。

(2)路上の駐・停車は、除雪作業のさまたげになりますので絶対にやめましょう。

(3)自宅の前は、自分で除雪しましょう。

(4)道路に雪を投げ出さないようにしましょう。また、町内会などで一斉に雪おろしをされる場合は、あらかじめ市町村役場や県の土木事務所へご連絡下さい。

(5)地域全体が協力して除雪を行い、雪害のないまちづくりに努めましょう。

(6)流雪溝や水路などへの雪の投げ捨ては、あらかじめ地区のみなさんでルールを決め、計画的に行いましょう。

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市安住町7-18安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)32-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:25~9:40
「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30
「こんにちは富山県です」
12/3 来年秋開催国民文化祭
12/10 私たちのふるさとづくり ~細入村~
12/17 地域ぐるみの健康づくり
12/24 未来へのメッセージ ~富山の文化財~
12/31 県政この一年
- ラジオ広報
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55
- 新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成8年1月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
5日	砺波市役所前 富山市役所前	9:30~16:00
8日	高岡市役所前	9:30~16:00
9日	新湊市役所前	9:30~16:00
10日	小矢部市役所前	9:30~16:00
15日	富山西武デパート前	10:00~16:00
21日	魚津サンプラザ前	10:00~16:00
23日	魚津市役所前	12:30~16:00
26日	宇奈月町役場前	12:30~16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認下さい。
○富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00~16:45)
富山県赤十字血液センター
富山市飯野26-1 TEL(0764)51-5555

「ブラジシモ」「コンサート」開催

高岡文化ホール音楽友の会では、12月18日(月)、「ブラジシモ、ウィーンの若手ブラスクインテット」を開催します。オーストリアの人気グループ「ブラジシモ」は1989年に結成した若手5人のブラスクインテットです。初来日となる今回の公演は、クリスマスコンサートとして親子で楽しんでもらえる親しみやすい内容になっています。ウィーンの香りただよヨーロッパの重厚な響きをどうぞ楽しみ下さい。

日時 12月18日(月) 午後7時開演
場所 高岡文化ホール大ホール
料金 一般券2,000円、学生券1,500円、親子券(親子1人・高校生以下1人)3,000円、当日券は各500円高
問合せ 高岡文化ホール ☎0766-25-4141

富山県埋蔵文化財センター企画展 原始・古代の米作り

日本に米作りが伝えられたのは、縄文時代の終わり頃と考えられています。その後米作りは、短期間のうちに全国に広まり、人々の生活や社会のあり方に大きな影響を与えました。

展示では、県内各地の遺跡から出土した考古資料を通して、原始・古代の米作りのようすを探ります。

会期 平成7年12月6日(水)~平成8年5月23日(木)
問合せ 県埋蔵文化財センター ☎0764-34-2814

平成8年度
県立保育専門学院学生募集

県では、保母の専門養成施設、保育専門学院の学生を次のとおり募集します。

試験科目 国語・英語・リズム運動・面接

年末における犯罪と事故を防止しましょう

年末は、何かと気ぜわしく、ちよっとした不注意で思わぬ犯罪や事故に巻き込まれてしまうことがあります。

警察と防犯協会では、地域住民の方々といっしょに「年末の犯罪・事故防止活動」(地域安全活動)を展開します。皆さんも町内会や校下の地域安全活動に参加しましょう。

実施期間 平成7年12月20日(水)~12月31日(日)
スローガ
◎みんなで作ろう 安心の街
◎安全は ほくたちみんなの たからもの

12月は納税強調月間です

●今年の税金は今年のうちにとそろそろ年の瀬も迫ってまいりましたが、納め忘れの税金はありませんか。もしありましたら、お手元の納税通知書または納付書をお持ちになり、お近くの金融機関または県税事務所でお早めに納めて下さい。

12月29日から1月3日までは、県税事務所の窓口業務は

試験日 平成8年2月1日(木)・2日(金)
願書受付 平成8年1月8日(月)~18日(木)
問合せ・願書提出先
〒933 高岡市中山上町5-1
県立保育専門学院 ☎0766-22-3785

啓 発

障害者週間のお知らせ

12月3日から9日は「障害者週間」です。障害者の福祉に対する県民の理解と認識を深めるため、次のとおりキャンペーンを開催いたします。

障害を持つ人と持たない人が、ともに協力して明るく生きる社会をつくる気運を盛り上げていきましょう。

日時 12月8日(金) 午前7時30分から
場所 JR富山駅前
問合せ 県庁障害福祉課 ☎0764-44-3212

冬期のLPガス事故防止について

- ◆住宅の屋根からの落雪や積雪の重みにより、調整器や配管、排気筒などのLPガス設備が破損するおそれがあります。屋根雪やLPガス容器周辺の積雪の状態に注意して、雪によるガス漏れなどの事故を防止しましょう。
- ◆ガス湯沸器等ガス消費量の大きい器具を、閉めきった室内で使用すると、換気不良により不完全燃焼を起し、一酸化炭素中毒にかかるおそれがあります。室内の換気には十分注意しましょう。
- ◆冬期間は、ガスを使用する機会が多くなります。ガスの使用中は、その場を離れないようにするなど火災の防止に努めましょう。
- ◆LPガスは、正常に燃焼している場合、青い炎で燃えます。ガスコンロ等の炎の状態がおかしいときやガスの臭

休ませていただきます。年末に税金を納められる方は金融機関をご利用ください。

●納税には口座振替が便利です。個人事業税・自動車税には口座振替による納税の制度があります。口座をお持ちの金融機関で簡単に手続きができますので、ぜひご利用ください。

あなたの税金が明日の富山県づくりに活かされています。県民の皆さんのご協力をお願いいたします。

多数のご応募

ありがとうございます。

二〇〇X年 県民が燃えるプログラム委員会からのお知らせ

八月から十月までの三か月間にわたり、「二〇〇X年 県民が燃えるプログラム」の提案募集を実施したところ、富山県をこよなく愛する方々から一五〇〇通にも上るたくさんのご応募をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

また、優秀作品については表彰を予定していますので、審査結果をどうぞお楽しみに。

双葉の年瀬

福野町の 市の大歳



年瀬も迫った十二月二十七日、福野町では、一年の締めくくりの市「歳の大市」が開かれる。この日、上町から浦町にいたる目抜き通りには、百軒をゆうに超える露店がずらりと軒を連ね、農作物や正月用品を買い求める人々で終日ごった返す。露店には、近隣農村でとれたばかりのゴボウ、ニンジン、ネギなどの野菜や、杵、臼といった餅つき用品、しめ縄、花、スコップなど、あらゆるものが並ぶ。

「さあ、買えや！」あちらこちらで飛び交う威勢のいい売り手の声。この日だけで、三万人以上の人があり、大変な盛況ぶりである。

そもそも福野町の朝市の起源は、江戸時代、慶安二年（一六四〇）まで遡る。当時、奉行あてに出された「福野の町立ての願い書」の中には、六斎市を開くことを懇願する内容が盛り込まれていた。その翌年、町が興されると、ほぼ時期を同じくして二と七の付く日（月六回）に朝市が開かれるようになり、現在も続けられている。この市によってもたらされた物資交流が、今日の福野町をつくる基盤になったともいわれる。

県内ではほとんど見られなくなった歳の市だが、この「歳の大市」は三百年以上の伝統を誇り、素朴な人情が感じられる年の瀬の風物詩として、今もなお多くの人々に愛され続けている。

※六斎市 中世・近世において月のうち6回開かれた定期市。
一・六、二・七というように組み合わせて開かれた。



年の瀬を飾る風物詩



十二月四日から十日まで
は人権週間です

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。」（世界人権宣言第一条より）

昭和二十三年十二月十日の国連第三回総会で、世界人権宣言が採択されました。

これを記念して、国連は第五回総会で、この日を「人権デー」と定めました。わが国では、この人権デーを最終日とする一週間（十二月四日から十日まで）を「人権週間」として、人権意識の高揚を図る啓発運動が全国的に広く展開されています。

私たちもこの機会に、人権の尊厳について考えてみましょう。

人権を守り
差別のない社会を

伝統的な価値観や古い因習による女性問題や在日外国人問題、教育現場等でのいじめや体罰の問題、障害者の問題、更には偏見による結婚、就職差別などの同和問題（部落差別の問題）など、憲法で国民に等しく保障されているはずの人権が侵害されるといふさまざまな問題があります。

差別は、人間の尊厳を傷つけ、自由を奪い、平等を侵害します。

私たち一人ひとりが、かけがえのない一人の人間として尊重され、そして、すべての人々が差別されることなく平等の権利が保障され、自由で生きがいのある生活ができる社会の実現に向けて、引き続き差別をなくす努力を続けていきたいと思います。

編集後記

ボーリングを始め、二年目で北信越のタイトルを獲得し、四年目で全国二位、六年目でとうとうアマチュアの頂点にのぼりつめた足谷美香さん。ゴルフを始め、四年目なのに、まだ一〇〇も切れずにいる自分にとっては、羨ましい限りだ。やはり才能の成せる技だろうか。「その通りだ」と共感しているそのあなた！ちゃんと努力していますか？前日だけの練習で好スコアを出そうというのには虫が良すぎますよ。(K)

私事で恐縮だが、知り合い数人と酒を酌み交わしている、誰かが「露天風呂ツアー」を提唱、翌日平湯温泉へ。着けば既に夕方。早速手当たり次第露天風呂のはしごをした。星空を眺めながらの露天風呂は格別だったが、十二月初めというのに軒下にはうっすらと白いものが…。すっかり湯冷めして帰ることに。ツクシユン。体には気をつけよう。(A)

気がつけば早くも師走。今年一年は、阪神・淡路大震災、一連のオウム事件と概して暗い世相だった。しかし、終わりを迎えればすべてよし。の言葉通り、十二月がいいかたちで終わり、来年が明るい年であって欲しいと願わずにはいられない。(Y)

今月号に掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切（25×18
センチ）でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。平成8年1月24日消印有効です。

氏名	富山県広報課
住所	写真プレゼント
電話	12月号係あて
本誌を読んだ感想	

とやまのまちににぎわいを 人口問題シンポジウム開催

Netscape: Welcome To Virtual Symposium

Location: file:///D:/jango/Desktop%20Folder/TOYAMA/TOYAMA%2010.31/virtual/index.html

Back Forward Home Reload Images Open Print Find Stop

Whats New? Whats Cool? Handbook Net Search Net Directory Newsgroups



バーチャルシンポジウムへ、ようこそ

Our Virtual Symposium

とやまのまちに、にぎわいを

[English here](#)

Virtual Symposium

- ◆ 第1章 早わかり富山県
- ◆ 第2章 データで知る富山県の人口問題
- ◆ 第3章 シンポジウムのテーマ
- ◆ 第4章 あなたの意見を聞かせてください
- ◆ 第5章 シンポジウム参加の手順

特報スペシャル
特報目次へ

遊ぶ場所 ハッキリ言って不満がいっぱい。富山では楽しめない？

満足

まあ満足



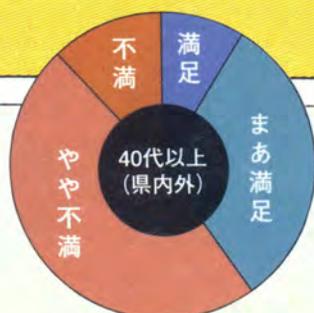
20代以下
(県内外)

不満

やや不満

満足

まあ満足



40代以上
(県内外)

不満

まあ満足

県では、「とやまのまちににぎわいを」をテーマに、人口問題シンポジウムを開催します。これは、若者の定着と流入を促進するためにはどうすればよいかを、シンポジウムを通じて来場者の皆さんとともに考える催しです。

なお、シンポジウムに先立ち、あらかじめインターネット上でバーチャル(仮想)シンポジウムを開催。そこでの意見をもとに、実際のシンポジウムで議論を展開するというユニークな試みです。国内のみならず国外からどんな意見が寄せられるか興味津々。皆さん、ぜひご来場ください。

日時 平成8年2月下旬予定

場所 高岡文化ホール

問合せ 県庁計画課
☎ 0764-44-9607